itmedia.co.jp

ユニー・ファミマ、総菜に注力　カネ美食品を子会社化

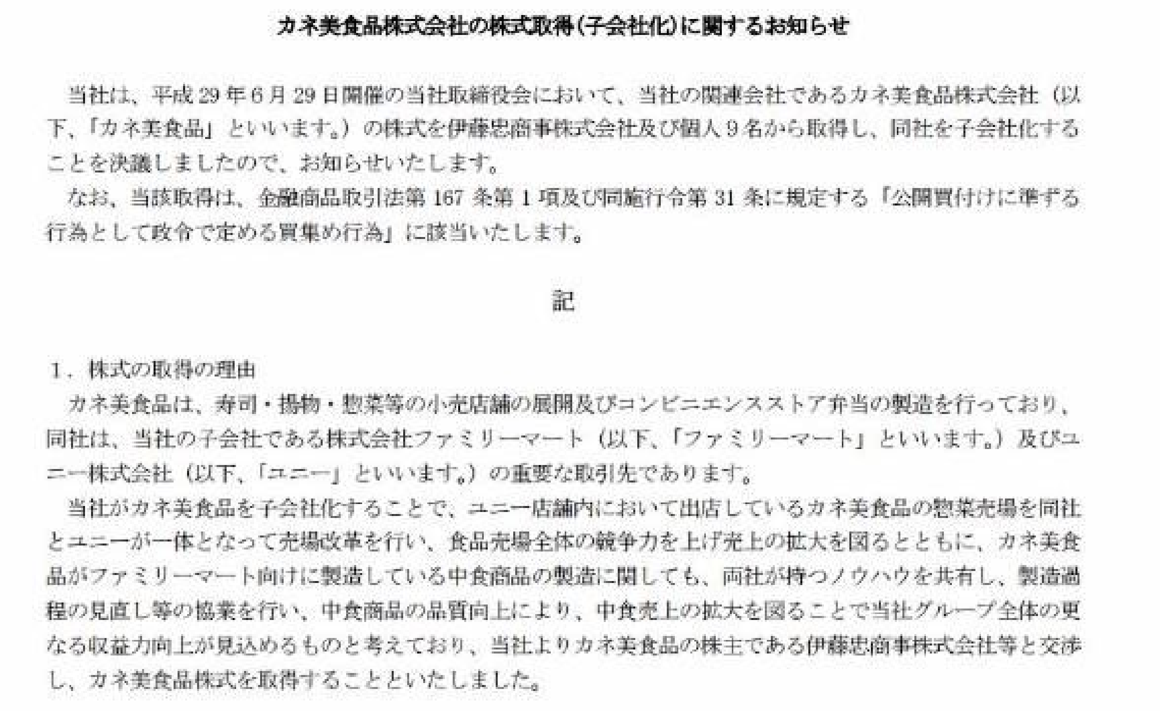
[ITmedia]

ユニー・ファミリーマートホールディングス（HD）は6月29日、弁当や総菜の開発・販売を手掛けるカネ美食品（愛知県名古屋市）の子会社化を決定したと発表した。カネ美食品が持つノウハウを取り入れてユニー・ファミマHD傘下のスーパーやコンビニの売り場を改善し、さらなる収益の拡大を図る狙いがある。

子会社化によって総菜に力を入れる方針だ＝カネ美食品の公式サイトより

ユニー・ファミマHDは、「近年、顧客のライフスタイルの変化によって、総菜のニーズが急激に高まっている。顧客のニーズの変化にスピーディーに対応するため、カネ美食品の子会社化を決めた」（広報IR部）と理由を話す。

計約87億3300万円を投じ、伊藤忠商事と個人の大株主から計260万株を取得。現在の出資比率は約26％だが、株式取得後は約52％になり、連結子会社化する。譲渡契約は7月7日に締結し、株式譲渡は7月末の予定。


カネ美食品株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成29年6月29日開催の当社取締役会において、当社の関連会社であるカネ美食品株式会社（以下、「カネ美食品」といいます。）の株式を伊藤忠商事株式会社及び個人9名から取得し、同社を子会社化することを決議しましたので、お知らせいたします。

なお、当該取得は、金融商品取引法第167条第1項及び同施行令第31条に規定する「公開買付けに準ずる行為として政令で定める買集め行為」に該当いたします。

記

1．株式の取得の理由

カネ美食品は、寿司・揚物・惣菜等の小売店舗の展開及びコンビニエンスストア弁当の製造を行っており、同社は、当社の子会社である株式会社ファミリーマート（以下、「ファミリーマート」といいます。）及びユニー株式会社（以下、「ユニー」といいます。）の重要な取引先であります。

当社がカネ美食品を子会社化することで、ユニー店舗内において出店しているカネ美食品の惣菜売場を同社とユニーが一体となって売場改革を行い、食品売場全体の競争力を上げ売上の拡大を図るとともに、カネ美食品がファミリーマート向けに製造している中食商品の製造に関しても、両社が持つノウハウを共有し、製造過程の見直し等の協業を行い、中食商品の品質向上により、中食売上の拡大を図ることで当社グループ全体の更なる収益力向上が見込めるものと考えており、当社よりカネ美食品の株主である伊藤忠商事株式会社等と交渉し、カネ美食品株式を取得することといたしました。

ユニー・ファミマHDによる発表内容

カネ美食品は1969年創業。テナント事業と外販事業を展開し、ユニー・ファミマHD傘下のユニーが運営するスーパー「ピアゴ」や「アピタ」にも総菜専門店「Kanemi」を出店している。2017年3月期の売上高は882億5800万円、営業利益は4億9800万円。

カネ美食品の公式サイト

カネ美食品の社名やブランド名などに変更はなく、東証JASDAQへの上場も継続する。経営体制については、「大きく変更する予定はないが、ユニー・ファミマHDからカネ美食品に数人の人員を派遣する予定」（ユニー・ファミマHD 広報IR部）としている。

Copyright © ITmedia, Inc. All Rights Reserved.